

京都ビジネスパートナー2007

2月22・23日 於 国立京都国際会館

(株)オージーファイン 小川 保弘

京都市左京区宝ヶ池にある京都国際会館で2月22、23日の二日間にわたって、京都産業21主催の京都ビジネス交流フェアが行われました。この催しの中心イベントである京都ビジネスパートナー交流会に参加してきました。自社の出展もありましたので、22日の午前中は機青連のブース、残りは自社のブースと二日間会場におりました。

22日の9時45分からオープニングイベントが始まり、京都府副知事や京都産業21の方が開会のご挨拶をされ、2日間のビジネス交流フェアの幕が開きました。機青連が参加した京都府内のものづくりに関わる約160の企業や団体が出展するビジネスパートナー交流会の他、建物内の別会場では大手企業と直接面談する技術アライアンスコーナー、産学連携を進める大学や、金融機関が展示をする京都連携交流広場、講師を招いての企業価値向上セミナーや国際化セミナー、若者と中小企業との出会いの場を創る交流会などが行われ、昨年よりもイベントの内容が増えています。

今回機青連のブースには、25周年を迎えるにあたっての会のこれまでのあゆみや活動内容を展示しました。ブースには機青連の先輩方を始め、今期お世話になった大学の先生方や機青連会員のご家族にも足を運んでいただきました。展示ブースは会場の中で比較的スペースに余裕のある所で、立ち寄ってくださった方と和やかな雰囲気でお話できました。

会場には機青連の会員企業をはじめ、試作ネット、京都テクノロジーユニット、アルフォース京都と、機青連に縁のある団体が出展されていました。試作ネットのブースは、展示品やデザインに力が入っていて見ごたえがありましたし、京都テクノロジーユニットではプロジェクターを使ってメンバー企業の動画をいっせいに流していたり、アルフォース京都では自作の三輪車など一般の人にも楽しんでもらえるような展示品が出されていたり、それぞれに工夫を凝らしてあって、会場内でも目立っていたように思います。

このビジネス交流会では、機青連の会員企業の製品や会社説明を見たり、会員のご家族や社員の方と大勢会うことができ、普段なかなかできない経験ができました。また、機青連として外部に出る行事なので、この会の存在感の大きさを再確認できたように思います。